

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-164058

(43)Date of publication of application : 18.06.1999

(51)Int.Cl.

H04M 11/08
H04B 7/24
H04M 3/42

(21)Application number : 09-324660

(71)Applicant : HITACHI ELECTRON SERVICE CO LTD

(22)Date of filing : 26.11.1997

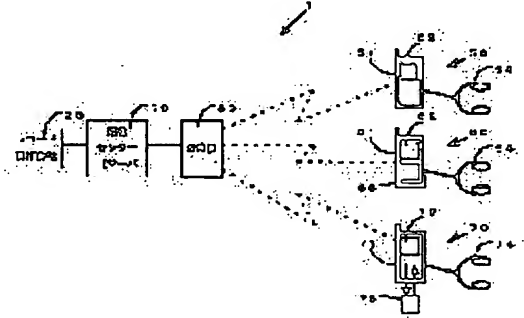
(72)Inventor : SATO NOBORU
YAMAGISHI NORIKAZU
TAKESADA MUTSUHARU
IWASAKI MINA

(54) PORTABLE TYPE MUSIC SELECTION/VIEWING SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system for offering a music software selected by a user while utilizing a mobile phone.

SOLUTION: A distribution center 10 having a server function receives provision of a music software from a record production company 20. A portable type music selection/viewing equipment 50 connected through a public line network 30 to the distribution center 10 has a main body 51 having a button input part, a display 52 provided on the main body 51 and receiver 54 for music, requests the music software selected by the user to the distribution center, and outputs the sounds of the received music software to the receiver 54 and outputs the lyrics or the like onto the display 52.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 26.11.1997

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 16.01.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(5)IntCl.	識別記号	P I
H 0 4 M 11/08		H 0 4 M 11/08
H 0 4 B 7/24		H 0 4 B 7/24
H 0 4 M 3/42		H 0 4 M 3/42

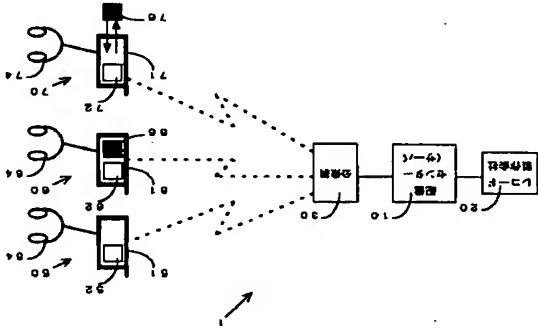
(21)出願番号	特開平9-324680	審査請求 有	請求項の数 4 O L (全 5 頁)
(22)出願日	平成 9 年 (1997)11月26日		
(71)出願人	000233491 日立電子サービス株式会社 神奈川県横浜市中区品川区品通町504番地2 佐藤 登		
(72)発明者	日立電子サービス株式会社内 山岸 令和		
(72)発明者	神奈川県横浜市中区品川区品通町504番地2 日立電子サービス株式会社内 武貞 健治		
(72)発明者	神奈川県横浜市中区品川区品通町504番地2 日立電子サービス株式会社内 日立電子サービス株式会社内		
(74)代理人	弁理士 沼形 義彰 (外 3 名)		最終頁に続く

(54)【発明の名称】 携帯型音楽選曲視聴システム

(57)【要約】

【課題】 携帯電話機を利用してユーザが選曲する音楽のソフトを提供するシステムを提供する。

【解決手段】 サーバ機能を有する配信センター10は、レコード製作会社20から音楽ソフトの提供を受けて、配信センター10に対して公衆回線網30を介して接続される携帯型音楽選曲視聴機50は、ポタン入力部を有する本体51と、本体51に設けられるディスプレイ52と、音楽用レシーバ54を有し、ユーザが選曲した音楽ソフトを配信センターに要求し、受信した音楽ソフトの音声データを54に出力するとともに、歌詞等をディスプレイ52に出力する。



【特許請求の範囲】
【請求項1】 音楽ソフトを製作するレコード会社と、レコード会社から音楽の提供を受けるサーバー機能を有する配信センターと、公衆回線網を介して配信センターに接続される携帯型音楽選曲視聴機とを備え、携帯型音楽選曲視聴機は、入力された選曲情報を公衆回線網を介して配信センターに伝達し、配信センターから送られてくる音楽ソフトを音声と文字情報として出力する手段を備える携帯型音楽選曲視聴システム。

【請求項2】 携帯型音楽選曲視聴機は、電源部と、総合制御部と、電話番号登録用記憶部と、ポタン入力部と、ディスプレイ表示部と、送話・受話制御部と、送話器および受話器と、電波送受信制御部と、アンテナと、音楽用制御部と、音楽用増幅部と、音楽用レシーバを備える請求項1記載の携帯型音楽選曲視聴システム。

【請求項3】 携帯型音楽選曲視聴機は、受信した音楽ソフトを記憶する音楽用記憶部を備える請求項2記載の携帯型音楽選曲視聴システム。

【請求項4】 携帯型音楽選曲視聴機は、音楽ソフトを記憶する記憶自在の音楽用記憶媒体を備える請求項2および請求項3記載の携帯型音楽選曲視聴システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、携帯型の電話機を用いた音楽の配信システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 例えば、携帯型のラジオやテレビを利用して、地上局やサテライトからの放送電波を受信して音楽ソフトを楽しむことができる。この放送電波の受信は、放送局からの一方通行のサービスであって、ユーザが選曲することはできない。また、通信カラオケシステム等においては、有線回線を利用してユーザが選曲した音楽をセンターに要求し、サービスを受けることができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 携帯型の電話システム普及に伴い、ユーザに対して電話サービスの他にも各種のサービスを提供することが可能となっている。本発明は、無線の公衆回線網を利用する音楽選曲視聴システムを提供するものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明の音楽選曲視聴システムは、基本的な手段として、音楽ソフトを製作するレコード会社と、レコード会社から音楽の提供を受けるサーバー機能を有する配信センターと、公衆回線網を介して配信センターに接続される携帯型音楽選曲視聴機とを備える。そして、携帯型音楽選曲視聴機は、入力された選曲情報を公衆回線網を介して配信センターに伝達し、配信センターから送られてくる音楽ソフトを音声と文字情報として出力する手段を備えるものである。主

むことできるとともに、この記憶装置（媒体）を抜き出して、他のオーディオユニットに挿入し、より高品質な再生音楽を楽しむことができる。また、他のオーディオユニットで記憶装置76内に音楽ソフトを記憶させ、この記憶装置76を、この携帯型音楽視聴機70に挿入して音楽を楽しむことができる。

【0010】図2は、携帯電話の機能を有する本発明の携帯型音楽視聴機の構成図である。全体を符号10で示す携帯型音楽視聴機は、電源部130に接続される総合制御部110を有し、総合制御部110は電話番号登録用記憶部120が接続される。ユーザが操作するボタン入力部182を有するボタン入力制御部180は、総合制御部110に信号を送り、総合制御部110は、ディスプレイ制御部160を介してディスプレイ表示部162に操作内容を表示するとともに、電波受信制御部140、アンテナ150を介して公衆回線網にアクセスする。ユーザが相手の電話を呼び出すのであれば、交換機は相手電話を呼び出し、送話・受話制御部170に接続される送話器174と受話器172を用いてユーザは相手と通話することができる。

【0011】音楽用制御部200は、総合制御部110、電源部130、電波送受信制御部140、ボタン入力制御部180、ディスプレイ制御部160に接続される。ユーザは、ボタン入力部182を操作して配信センターを呼び出す指令を出力すると、その内容はディスプレイ表示部162に表示されるとともに、電波送受信制御部140は、アンテナ150を介して公衆回線網を経由して配信センターにアクセスする。

【0012】配信センターにアクセスできると、ユーザは選曲を指令し、配信センターは選曲された音楽ソフトを送り返す。この音楽ソフトを受信した音楽用制御部200は、音楽用増幅部で信号を増幅し、レシーバジャック220に差し込まれる音楽用レシーバ230に音声出力する。この音声出力は、受話器172へも出力することができる。歌詞等の情報は、ディスプレイ表示部162に表示される。

【0013】音楽用制御部200に接続される音楽用記

憶部240は、音楽ソフトを記憶する。磁気カード、磁気テープ、CD、DVD、ICカードのようなメモリカードのような音楽用記憶媒体250は、音楽ソフトを記憶するとともに、この記憶媒体250を取り出して、他のオーディオユニット等で使用することもできる。

【0014】図3は、本発明のシステムによる処理フロー図である。ステップS10では、レコード製作会社20から配信センター10へ、曲・歌詞・画像の登録（変更・削除）を行う。配信センター10は、曲・歌詞・画像の登録（変更・削除）を行う。ステップS11では、ユーザは携帯型音楽視聴機のディスプレイとタッチボタンで、曲名・歌手名・ジャンル・曲名No.・作曲家名等を選択できる。ステップS12は、選曲した曲と歌詞・画像を配信センターからユーザに回線を通して送信する。

【0015】ステップS13は、ユーザのレシーバから音声、ディスプレイに歌詞と画像を表示する。記憶装置に付きの場合は記録し、通話終了後も再生可能とする。ステップS14は、配信センターから送信が終了したら録金処理を行う。録金処理についてはNTTのQ2方式で処理を行う。ステップS15では、記憶装置から再生中に電話着信があったら、割り込みの通知または表示を行なう。

【0016】

【発明の効果】本発明は以上のように、携帯電話機を利用してユーザが選曲した音楽ソフトを楽しむことができるので、公衆回線網の利用も拡大され、サービスも向上するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の携帯型音楽視聴システムの構成図。

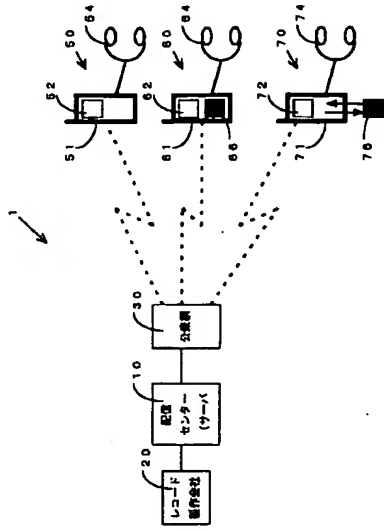
【図2】本発明の携帯型音楽視聴機の構成図。

【図3】本発明の携帯型音楽視聴システムのフロー図。

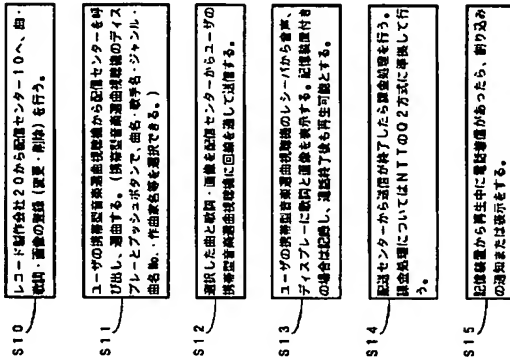
【符号の説明】

- 10 配信センター
- 20 レコード製作会社
- 30 公衆回線網
- 50、60、70 携帯型音楽視聴機

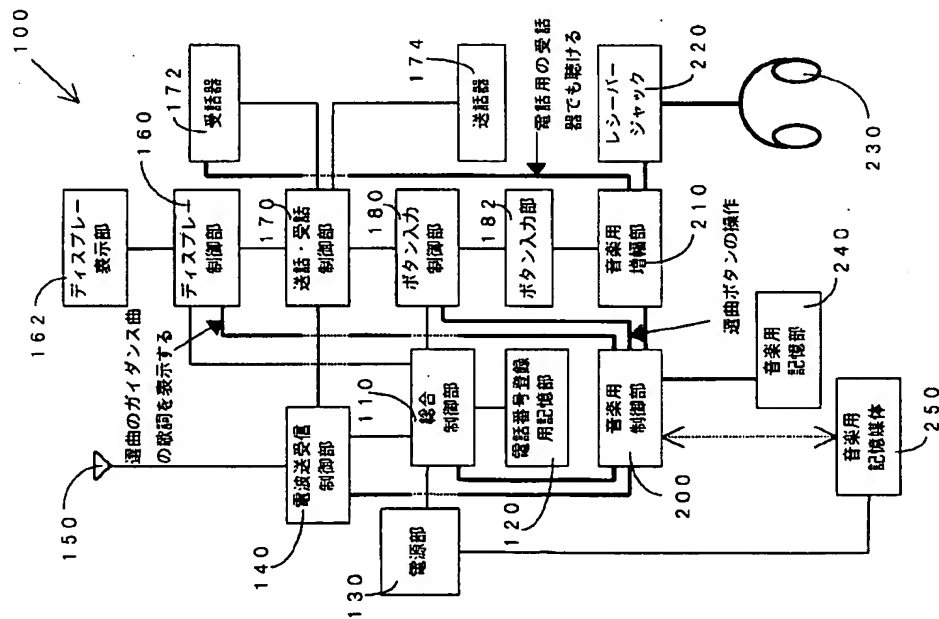
【図1】



【図3】



【図2】



フロントページの続き

(72)発明者 岩崎 美奈
神奈川県横浜市戸塚区品濃町504番地2
日立電子サービス株式会社内